

オーストラリア学会

地域研究会（第33回関西例会）

*会員/非会員とも事前申込みをお願いします。
(入場無料)

日時：2023年11月18日（土）14：00～17：00
会場：キャンパスプラザ京都

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路 939
JR 京都駅（烏丸口）から西へ徒歩5分。

アクセス：<https://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>

参加申し込み先：氏名・所属を明記のうえ、11月12日（日）までに、下記宛お申込みください。研究会終了後、JR 京都駅周辺で懇親会を予定していますので、懇親会の出欠も必ずご記入ください。

関西例会担当：龍谷大学 友永雄吾 tomou5@world.ryukoku.ac.jp

<研究発表>

「シドニー大都市圏における日本人留学生の移動と空間」

阿部亮吾（愛知教育大学）

【要旨】 オーストラリアの大学では、1990年代以降、私費留学生の獲得競争が激化しており、とりわけ中国やインドといったアジア圏からの留学生が急増した。これら留学生は教育産業に経済的利益をもたらすだけでなく、都市に住まい消費しかつ労働する「都市居住者」でもある。そこで本発表では、日本人留学生に焦点を当て、その居住形態やライフコースに合わせた都市内移動が、シドニー大都市圏の空間構造や都市再開発といかなる関係にあるのかを検討したい。

「クイーンズランド州ヨーク岬及びケアンズ北部の先住民言語 復活・維持」

濱嶋聡（名古屋外国語大学）

【要旨】 オーストラリア最北端のヨーク岬に位置する5つのコミュニティ（アボリジニース、トレス海峡諸島民）のうちの一つ、Bamaga（バマガ）コミュニティ内アボリジニース家族宅に滞在しての情報収集、ケアンズ、Pama（パマ）言語センター内の長年の研究協力者で、教育者で言語学者でもあるスタッフを訪問してのIT言語教材資料収集をもとに各言語コミュニティの視点に立った言語復興・維持について発表（科研・基盤(C)2020, 2021, 2022）。

主催：オーストラリア学会